

平成23年7月21日(木)
担 当 愛知県農林水産部畜産課 畜政・家畜衛生グループ 川村、神谷
内 線 3703・3704
ダイヤルイン 052-954-6424

東北・関東地域で収集された稲わら等の流通・使用に関する調査 の結果について

原発事故被災地域周辺で収集された高濃度の放射性セシウムを含む稲わらが県境を越えて流通し、複数の県で牛に給与されていたことが明らかとなったことを受け、農林水産省の要請により、本県においても、東北・関東地域で収集された稲わら等の流通・使用等に関する調査を実施しました。

調査は県内の飼料販売業者を対象に実施したもので、平成23年3月11日以降に東北・関東地域で収集又は当該地域の屋外で放置されていた稲わら等を県内の畜産農家に供給した事実は確認されませんでした。概要は下記のとおりです。

記

1 調査の方法

- (1) 調査対象 飼料販売業者57社
(飼料安全法に基づく届出業者のうち稲わら等の取扱いがあるもの)
- (2) 調査期間 平成23年7月19日(火)～21日(木)
- (3) 調査方法 FAX及び電話による調査

2 調査内容及び結果の概要

(1) 調査内容

「原子力発電所事故後に東北・関東地域において収集又は当該地域の屋外に放置されていた稲わら等」の仕入れ及び出荷状況など

(2) 結果

57社全てにおいて、該当する稲わら等を県内の畜産農家に供給した事実は確認されませんでした。

なお、当該地域からの稲わらを仕入れた業者が2社ありましたが、いずれの稲わらも原子力発電所事故前に収集し屋内で管理されていたものであり、さらに、当該稲わらは県内の畜産農家に供給されていないことを確認しております。